

(令和7年9月17日(水) 公開講座「SOGIの多様性について」)

9月17日(水)に高知大学にて、公開講座「SOGIの多様性について」を開催しました。高知大学では令和4年1月にSOGIの基本方針を定めており、今年は2度目となるSOGIの公開講座となりました。

まずは、SOGIという言葉を知ったことがありますか？という質問から始まりました。これは、一人ひとりの性のあり方を示す言葉で、**Sexual Orientation**(性的指向)、**Gender Identity**(性自認)の頭文字をとっている言葉でソジ(あるいはソギ)と読みます。もしかしたら、LGBTという言葉については聞いたことがある、という方が多いかもしれません。LGBTは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーという言葉の頭文字です。SOGIの方は人の属性を示し、異性愛の人も示すなどすべての人が持っている属性なので、より広範囲な意味合いで使われます。

今回の授業では、最近よく聞くようになったSOGIという言葉について、そして講師の宮田さんが活動されているNPOレインボー高知についての活動をお話し頂きました。

法的には、このSOGI(性的指向や性自認)についても、パワハラ防止法施行によって、対応が義務付けられるようになりました。具体的には、同性愛や性的指向に関する偏見や差別などを無くす、身体の性と心の性が一致していない人が、職場などで不適切な扱いを受けないための人権的な取組が必要となっています。宮田さんは上記の医学部附属病院での研修でも講師として活躍されており、国立大学では初となるSOGI支援にも積極的協力して頂いています(医学部附属病院のSOGI支援チームの活動については[ウェブ](#)をご参照ください。)。

また高知におけるSOGIの理解をもっと広めようと、2024年度から高知初となるレインボーパレードを実施されたりと、啓蒙活動も活発に行われています。

この講義の中では、特に大学生に知ってほしいこととして、性的少数者の方々の持つ息苦しさがあり、周りの理解がないと生活をしていくことが大変だということです。「カミングアウト」や「アウティング」などの言葉も学び、そのような状況になったときにどう対応するのかなども考える機会となりました。

調査によりますが、性的少数者は11~13人に1人程度いるとされています。そのような性の多様性がある状況を踏まえたうえで、個々のSOGIを理解しあうことで、安全で安心に過ごしやすい大学生活ができることは重要だと考えます。

(大学でもSOGIに関する[窓口](#)を設けていますが、こうち男女共同参画センター「ソーレ」にも「にじいろコール」というLGBTに関する電話相談窓口もあります。詳細は「[レインボー高知](#)」のサイトをご覧ください。)

高知大学 男女共同参画推進室 [shirase-sakuran](#)

参加無料

公開講座

**SOGIの多様性について**

講師 NPO団体 レインボー高知 代表 宮田 真 氏

令和7年

日時 **9月17日 水** 13:10~14:40

会場 高知大学 朝倉キャンパス 教育学部51番教室

対象 学生、教職員、一般の方

※事前申込は不要です。  
本講演会は、高知大学集客授業「男女共同参画社会を考える」の一環として実施されます。

男女共同参画推進室主催の夏期集中講義「男女共同参画社会を考える」の一環として行う講座を、一般公開します。  
今回は、NPO団体レインボー高知の代表・宮田 真(みやた まこと)氏を講師にお迎えします。  
レインボー高知は、高知県を中心に、セクシュアルマイノリティ(性的少数者)当事者が、差別や偏見、社会的な孤立をなくすために活動している団体です。当事者とアライ(同盟・支援者)が連携し、すべての人が安心して地域で生活できる社会の実現を目指しています。  
講義では、SOGIに関する基礎知識、地域での実践、そして私たちにできることについてお話しします。  
どなたでも参加いただけます。どうぞお気軽にお越しください。

※「SOGI(ソジ)」とは、  
「性的指向(Sexual Orientation: どんな性を好きになるか/ならないかなど)」と、  
「性自認(Gender Identity: どんな性と自分であるか/思わないかなど)」の略称です。

高知大学 男女共同参画推進室 担当: 宮地・吉村 [sankaku@kochi-u.ac.jp](mailto:sankaku@kochi-u.ac.jp)

